

地域おこし協力隊 活動記 Vol.120

雪かきに明け暮れた1月もあっという間に過ぎていきました。皆さんはどんなお正月を過ごされたでしょうか？

わたし（加賀）は毎年恒例の獅子舞元旦村まわりに参加した後は、やはり恒例の寝正月で休みを終えました（笑）。

年内こそ去年のような大雪は降りませんでしたが、年末以降、青森県はけっこうな雪に見舞われています。元旦の獅子舞村まわりも、写真でもおわかりになるとおり雪舞う中での活動となりました。ときおり雲の間から青空が顔を出す時間もありましたが、全体的には風が強く雪が吹き付ける一日でした。それでも、地域の人たちの中には楽しみに待っていてくれる人も少なからずいて、紙漉沢獅子舞保存会としても、大変ながらもやりがいを感じていることでしょうか。1月7日（水）には、相馬中学校で受験生を応援する合格祈願演舞を行いました。昨年は、受験生全員が第一志望に合格できたという事なので、今年もその流れに乗って、いい春を迎えてほしいものです。

さて、1月20日（火）から21日（水）には一泊二日で、秋田県の三種町とつうとつうに視察旅行に行ってきました。三種町の下岩川地域は、人口およそ8000人ほどと規模こそ小さいですが、相馬地区に似た中山間地に位置する農村です。



紙漉沢獅子舞保存会による元旦村まわり

令和6年2月に、「下岩川地域づくり協議会」と農村RMOを設立し、持続可能な地域づくりに取り組んでいます。以前からお伝えしているとおり、相馬地区でも農村RMOの設立に向けて取り組んでいるところであり、参考にできるところ

を少しでも吸収できればと思います。我々協力隊の任期も、残りあと3ヶ月ほどになりました。2月15日（日・長慶閣）の卒業報告会でもお話しするつもりですが、卒業後も相馬地区の地域づくりには何らかの形でかかわっていきたくと思っています。下岩川地域づくり協議会の視察は、その意味でも少なからず収穫があったような気がします。



下岩川地域づくり協議会視察の様子

